

まちづくり推進講座（第2回） 開催結果

日 時	平成28年10月19日（水）午後2時～午後3時30分
会 場	ゆめぱれす（朝霞市民会館） 201会議室
講 師	三鷹市民協働センター 安達 徹 事務局長
テーマ	三鷹市における協働と市民協働センターの取り組み ～市民が主役のまちづくりを先進市から学ぶ～
講演要点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三鷹市の協働には「対等の立場で相互協力をしながら、共に汗をかくこと」を定義に入れている。 ・ 市の行政サービスだけで対応することは困難（行政だけでは間に合わない・行き届かない）となり、協働によるまちづくりが求められてきた。 ・ 平成11年に発足した「みたか市民プラン21会議」では、市と市民参加組織との対等な役割と責務を定めた「パートナーシップ協定」を締結し、協働型での活動を通し、第3次基本計画の策定に向けて、市が素案を作成する前の白紙からの市民参加による提言を行った。 ・ みたか市民プラン21会議の公募市民の一人が三鷹市長（現在3期目）となり、また一人が三鷹協働市民センターの代表理事を務めている。 ・ ドイツのプラーヌクスツェレを参考にした、「まちづくりディスカッション」と称する、無作為抽出による新しい市民討議会形式の参加手法を取り入れ、平成18年からこれまでに7回実施し、成果を挙げている。 ・ 協働センターの主な機能としては、「ささえる＝市民活動を支援する」、「つなぐ＝協働を推進する」、「つむぎだす＝まちづくりへの市民参加の機会を提供する」が挙げられ、各々の具体的な事例について紹介いただいた。

